



鹿屋 広報 あとね

第414号

住民基本台帳人口と世帯数

(7月1日 現在)

人口	30,212 (+6)
男	14,088 (-7)
女	16,124 (+13)
世帯数	9,575 (+9)
()内は前月比	

昭和56年7月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行



夏
本
番

イリコづくりに盛ん

海岸で

7月号

保健センター・働く婦人の家

設計完了近日中に着工へ

市民の健康づくり一手に

健診室・指導室など近代設備を備え

川州市長が市民の健康づくりと家庭や職場で働く婦人の研修の場にと、国や県にお願いし、実現した保健センター、働く婦人の家の建設場所は、現在の出水職業安



完成予想図

定所阿久根出張所のとなり、旧失業対策資材置場跡地に建てられることになっています。

総事業費 約三億三千万円

建て物は、鉄筋コンクリート造り三階建て、延面積二千四百五平方メートル。完成予想図のような外観に冷暖房が完備した立派な施設で、総事業費は保健センターが約一億三千万円、働く婦人の家が約二億

五百万円を見込み、総体では約三億三千万円の見込みです。

一階が保健センター

二・三階は働く婦人の家

会館は、一階に保健センター、二階・三階が働く婦人の家で併設して建設されます。

このほどできあがった設計書によると、一階の保健センターは乳児健診や三才児健診など健康について指導する指導室（和室）、フッ素塗布や歯科の診察を行なう歯科診察室、栄養実習ができる栄養指導室、八十人収容の集団指導室、軽い運動が行なえるよう運動指導室も設けてあります。このほか、全館を管理する事務室や、ロビーを備えてあり、また、身障者の方々が気軽にセンターに入れるよう玄関はスロープ式にしてあり、トイレなども改善されています。

誕生 おめでとう

出生児 保護者 区名

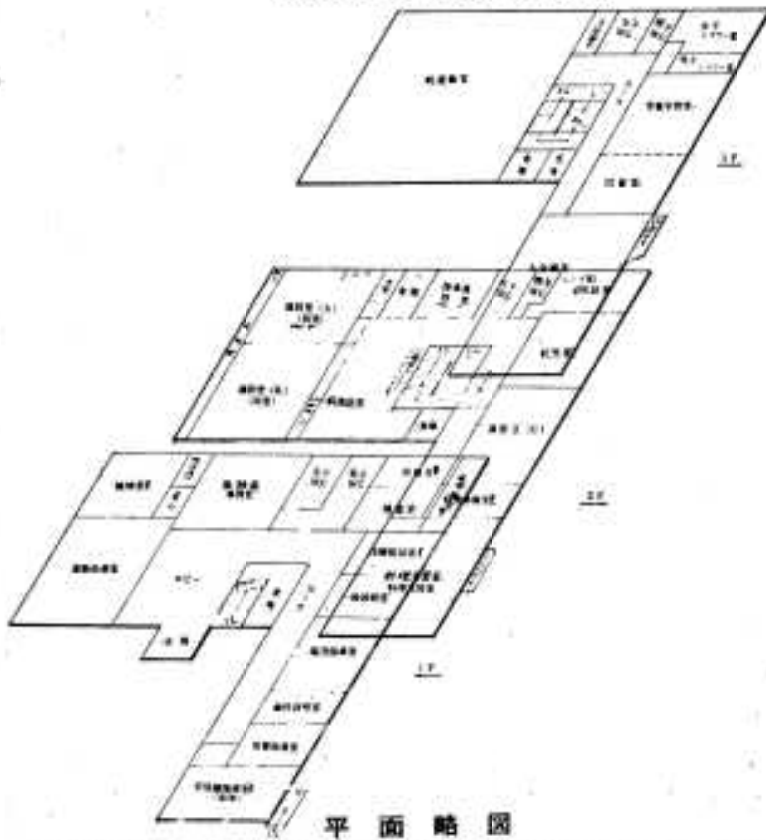
末古 辰満	満	(陣之尾)
大田 律子	讓	(山馬場)
浦 朋美	秀樹	(浦)
富吉 洋平	寛一	(寺山)
小園 有佳	康二	(本町)
松永 さやか	勝美	(大尾)
鶴園 広樹	速雄	(濁)
築瀬 恵	弘文	(寺山)
山下 正平	勉	(大尾)
寺地 由利香	勝則	(尻無中)
黒崎 太郎	義久	(中村)
中村 早紀	信行	(波留)
荻野 ゆかり	和美	(高之口)
中間 悠	清臣	(牛之浜)
松本 涼子	晃	(高松)
西村 誠之	健一	(濁)
花園 貴志	勇男	(新町)
川内 貴志	勝範	(段)
田澤 優作	正美	(倉津)
倉田 昌直	國行	(濁)
西田 裕二	己之助	(濁)
江口 希	光	(黒之浜)
山元 夏美	正和	(深田)
矢房 寛子	康典	(下村)

毎月第三日曜日は家庭の口

家族そろって楽しい一日を
過ごしましょう。



安定所となりの建設予定地



二階の働く婦人の家では、流し台を備えいつでも料理の実習ができる料理室。百人収容の講習室。踊り、お茶、生花など和室の講習室。相談室、託児室などとなっています。

三階は主にレクリエーションを中心の施設とし、卓球台、バトミントンなど気軽にスポーツが楽しめる軽運動室。健康つくりトレーニング器具をそろえた大会議室。子供たちの勉強の場としての学習室、図書室も備えてあります。



昭和五十七年
三月完成

このセンターの外観は白色のタイル張りとし、市街地の風景とマッチするように色彩を統一してあり、敷地内には常時五十台の車が駐車できるようスペースをもうけてあります。

保健センター・働く婦人の家は昭和五十七年三月完成を目標に建設が進められますが、市民の健康づくりの拠点として、期待されています。

ご冥福を
お祈りします

- 尻無仁之助 84 (尻無中) 進
- 柳 藤太郎 89 (柳) 浅野勝康
- 田中アツマ 88 (本町) 橋口満徳
- 磯畑 龜吉 87 (本町) ミツエ
- 築地三之助 82 (一段) ハル子
- 大藪 繁 78 (波留) 卓雄
- 野畑 国春 59 (大丸) 佳則
- 神 トミ 46 (高松) 司
- 坂下 勝博 34 (一段) 弘子
- 平田 政吉 88 (横手) 喬
- 毎熊 勝見 63 (上野) マツエ
- 鶴岡平次郎 78 (新町) ハツキク
- 花田スツノ 90 (川畑中) 秋雄
- 牛之濱サヨキク 84 (牛之浜) 勝美
- 花田 良雄 71 (尻無下) 千代子
- 牛之浜興吉 78 (牛之浜) クメ
- 池崎 亨助 60 (脇馬場) トメ子
- 川邊 トキ 83 (深田) 中村和徳

切手教室を開催
阿久根郵便局

切手収集家、初心者を対象に切手教室を開催します。多数ご参加ください。

▽期 日 七月二十六日(日)

午前十時から十二時まで

▽場 所 阿久根郵便局 会議室

くわしくは郵便課

☎0426へ

第二回定例市議会

一般会計に七千八百二十二万一千円を補正

街路事業や遺跡調査費を追加

第二回定例市議会は、六月十八日から二十六日までの九日間の会期で開かれ、報告一件、議案五件を原案通り可決しました。

このなかで、一般会計に七千八百二十二万一千円を追加し、予算総額を七十二億七千七百六十八万六千円としました。

旧市役所跡地を整地

億七千七百六十八万六千円としました。

ほか、一般会計補正予算と、国民健康保険特別会計の補正予算で

一般会計の補正予算では、歳入歳出にそれぞれ七千八百二十二万一千円を補正し、予算の総額を七十二

歳出の主なものは、総務費では旧市役所跡地の整地造成工業費として二千三百四十万円を計上。道路、排水溝、舗装などの工事を行うことになっています。

新たに、市民課と福祉事務所の二カ所の窓口对身体障害者の方々のための記載台の購入費も計上しました。

報告一件は、土木費の住宅建設費などを五十六年度に繰越して執行した繰越明許費と、単人簡易水道の継続費の報告でした。
議案五件は、農村総合整備モデル事業の実施にともなう、実施場所、事業費など概要について議決を求めたもの。
国民健康保険税条例の一部改正議案の主なものは、所得に応じて課税される所得割額の率を現行「百分の六」を「百分の六・四」に。一人当りの課税額を現行「一万六千八百円」を「一万一千八百円」に引上げる条例改正や、一世帯別平等割額の引上げ額の改正などでした。



発掘調査が始まる北山遺跡

農業費では、養蚕団地育成補助金百五十万円を予算化、養蚕農家の育成を図ることにしています。水産関係では、氷不足の解消を図るために阿久根漁協が増設中の製氷工場に五百二十四万円を補助するほか、魚鱒投入、畜産施設などにも補助金を計上。
阿久根七不思議の一つ佐潟の洞くつに気軽にに行け見学ができるよう遊歩道の整備も行ないます。
土木費では、本年度から五カ年に約三億五千万円の事業費で進められる街路事業、大丸、遠見ヶ丘線に九百八十万円を計上しました。
消防費関係では弓木野分団に小型積込車を配車することにしています。

山下北山遺跡を発掘調査

教育費では、西目小学校百周年記念事業費として百万円を予算化運動施設が整備されます。このほか山下北山地区の埋蔵文化財の発掘調査費として二百八十六万円を計上、この八月から調査が進められることになっています。

国民健康保険補正予算は、保険料の軽減を図るために、税率を押えた分を国民健康保険基金繰入金から充当するもので、二千三十四万六千円を減額補正しました。

ライオンズクラブがチリかご六個市に寄贈



チリかごは深さ一尺、大型のりっぱなもの。市ではさっそく梶原鼻公園、臨本海水浴場、牛之浜路傍公園に設置しました。

また、同クラブは、市立図書館に図書購入費として五万円も寄付しました。

夏祭り

ハンヤ節大行進八月七日
花火大会八月八日

水道通間の六月五日、上水道水源地で川畑市長、大田議長、給水工事店、簡易水道関係者など六十人が出席して水神祭が行なわれ、水神に玉串しをささげ、水道事業の発展と豊富な水に恵まれるよう祈っていました。

水よ豊に 水神祭



整備される高之口港



高之口港を五カ年で整備

物揚場や道路など健設

高之口港の改修事業が本年度から始まることになり、近日中に工事に着手することになりました。同港は、入江を利用した良港ですが、干潮時には港が浅になり船の出入ができません。また、物揚場がなく漁民から早期改修の要望が出されています。

そこで、市が国や県の補助を受けて改修工事を実施するもので、本年度から昭和六十年までの五カ年事業とし、総事業費も約四億六千万円を予定しています。

計画では、港の南側に長さ百回の物揚場を建設、これに国道三号

から市六・五号延長百六十回の道路を取付けることになっており、北側にも長さ百五十回の物揚場と道路をつくることにし、この隣りに

は、船の修理などできるよう船揚場の建設も計画してあります。湾内はしゅんせつして大型船も自由に出入ができるよう整備するほか、港入口の防波堤も五十回延長することになっています。今年度は、南側物揚場と取付道路から工事が始まる見込になりますが、早くも関係者から期待されており、完成が待たれます。

製氷工場を増設 阿久根漁協



阿久根漁協（坂元庄蔵組合長）では、氷不足を補うため新たに製氷施設を増設中で、今月末完成をめざし工事が進んでいます。

同漁協の現在の製氷能力は一日七〇トン（角氷四十トン、自動製氷三十トン）ですが、最近の水揚量の増加などにもなつて氷の需用が増加し、毎年夏場には氷不足に悩まされ、近郊の漁協などから買い入

れ急場をしのいでいました。

今回増設される製氷施設は、今の第三製氷室の三階に建設するもので総事業費五千五百万円。一日の製氷能力が三十トンです。これが完成すると一日百トンの製氷能力にアップされ、氷不足の解消が図られるものと期待されています。

有料道路通行料を割引 身体障害者を対象に

身体障害者手帳を持ち、下肢、体幹の機能に障害のある人で、自分で乗用車などを運転する人は、所定の申請をすると有料道路の料金が半額になります。この割引証は市福祉事務所が発行しますので、身障者手帳、免許証、車検証、印かんを持って申請してください。詳しくは、市福祉事務所にお尋ねください。③1211④413

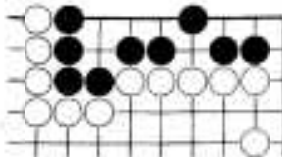
ソフトボールの好きな 女性の方、ただ今加入者 を募集

阿久根女子ソフトボールクラブ
連絡先
▽大丸町 宮地トミ子さん
②0323へ
▽ソフトボール協会事務局
②0316へ

頭の体操

詰碁 有段を目指して

出題 本因坊 武宮 正樹
白先 黒死五手まで



●ヒント…ウツテ
ガエシをぬらう
3分で解ければ初段
5分で解ければ4級
正解は12ページにあります。

嫁のきてがない など意見出る

若い農業者と語る会



まず若い農業者から「青年団に女子の加入が少ないのできびしい、また、農家にヨメがこない」「畜産の緊急時の受け入れ体制を固めてほしい」「農業後継者資金のワクを拡大してほしい」「農業構造改善事業の進め方」「茶園団地の整備減反問題」などについて活発な意見が出されました。

これに対し関係団体から「ヨメの問題はマスコミの働きすぎ、女子青年の働きおこしには若い皆さんが積極的にやったら」など回答が出され、他の意見についても早急に前向きで処理したいと回答されました。

この日は、今春新しく農業の仲間入りした根比幸二君、坂松昭二君、根比達君の三人を励ます会も開かれ、「きびしい農業状況の中

農業について大いに語ろう」と若い農業者と関係団体との語る会がこのほど市役所で開かれ、若い農業者からは「ヨメのきてがない」など農業について深刻な意見が出されました。

会には行政側から川畑市長、原田改良普及所長、農協代表など十一人が、若い農業者からは瀬之浦上で果樹農業にがんばっている京田正人君ら4日クラブ、かげぼし会から二十二人が出席しました。

三地区大会
阿久根市が会場
7月26日
牛深市、金長島町、阿久根市に

中心に、夏季観光宣伝隊を送り、観光阿久根を大々的にPRしました。

がんばってください」と激励され「先輩たちの意見を聞き、農業にがんばります」と力強く抱負をのべ就農を祝いました。写真は酒発に意見が出された語る会

阿久根を大々的にPR

夏季宣伝隊

市の観光協会、商工観光課では、六月二十一日から三日間熊本県を



道行く人に阿久根をPR

夏の観光シーズンを前に、阿久根への観光客誘致をねらったもので飲食店組合などから二十六人が参加。一行は熊本県の八代、菊池、人吉、大分、鹿児島市のコースで宣伝を行ない、熊本市の上通り商店街、鹿児島市の市役所前では道行く人に特産品のキビナゴ、ボンタン漬、チラシ等配布、また、「阿久根ハンヤ節」の踊りも加え観光阿久根を売りこんでいました。

よる体育大会が、今年七月二十六日阿久根市で開かれます。当日は、市の体育館を中心に剣道、柔道など十一種目が行なわれます。

市民のみなさんも応援しましょう。



交通安全は家族みんなの願い

市の交通共済に加入しましょう。

皆さんは、自分の家族の人たちが交通事故にあらうことを「まさか」というように考えていないでしょうか。しかし、交通事故は一瞬の間に起こります。事故にあった人や家族の誰れもが訴えていることは、損害賠償の話し合いが長びいて、病院代や当分の生活費に困ることです。

このようなことにならないよう歩行者も運転者も交通マナーを守って、交通事故にあわないうよう注意しあうことが第一ですが、万が一に備えておくこともたいせつなことです。事故の痛ましきはお金で償えるものではありませんが、そんな急場をしのいでいただくために阿久根市の交通災害共済制度があります。一人年間三百六十五円払いこんでおくといざというときに最高八十万円までの見舞金のごくかんたんな手続きで支給されます。

まだ加入していない方交通安全のため加入をおすすめします。

昨年度は八十件、六百五十一万円の見舞金支給されています。

毎月第二水曜日は

交通事故相談日

市民相談室

わたしたちの学校

大川小学校



百力の丘で体力づくり



シリーズ7

学級数	11
児童数	311人
校長	橋元善友

校歌

一、水すみわたる大川に
寄せる潮のけだかさは
古きけがれを洗いつつ
育つわれらの姿なり

ぼくたちの学校は、きよ年、創立百周年記念をむかえた伝統のある学校です。先生三十二人、児童三百十一人の学校です。百周年では、いろいろなことをしていただきました。一番うれしかったことは、百力の丘を作ってもらったことです。みんな、百力の丘で元氣よく遊んでいます。また、屋体にも立派な

んちようや
暗幕ができ
学校の発表
会や朝会な
どに大きな
役割を果た

学校のあゆみ

- 明治12年 尻無精古所を学校とし、大川小学校と称す。
- 13年 大川元庄屋校所に移り、宇都小学校と改称。
- 20年 大川簡易小学校と改称
- 35年 台風の為第一仮教場一棟 (12坪) 倒壊
- 大正2年 新校舎落成
- 3年 高等科設置・大川尋常高等小学校と改称
- 12年 高等科3年を設置・校地拡張
- 昭和6年 校歌制定
- 16年 大川国民学校と改称 校舎3教室増築
- 17年 講堂校舎大改造 水道・送電機完備。
- 22年 6、3制実施 大川小学校と改称 PTA 創立
- 27年 校舎2階建に改装 (120坪)
- 31年 給食室完成・学校給食開始・本之牟礼小学校本校の分校となる。
- 35年 創立80周年記念式実施・図書館50坪建設・映写機購入
- 42年 屋内運動場完成
- 46年 プール完成・水害により6教室・宿直室・倉庫便所災害を受く
- 47年 鉄筋二階校舎 (6教室) 宿直室・便所完成
- 51年 本之牟礼分校閉校・大川小学校に吸収統合
- 52年 文部省研究協力校指定2年
- 55年 地区研究協力校指定・大川小学校創立百周年記念式典

学校にも新しい校舎ができ、充実した学校生活をすごしています。今、ぼくたちの学校生活で楽しいことは、校区めぐりで、古老から昔の話を聞くことや、一人一鉢で全児童が花を育て卒業式を花い

百力の丘で元氣
いっぱい体力づくり

しています。ほかにも、放送設備やビデオの撮影機、温室の修理、記念碑も建ててもらいました。それに多くの本も買ってもらい、みんなそれらを活用し、明日への勉強や学校生活のすべてに生かしています。

つばいにかざることです。ぼくたちは先輩がきずいた伝統を受けつぎ、大川小の三つの響である、一、健康でねばり強い子ども、二、やさしくて礼儀正しい子ども、三、進んで勉強する子どもを目標に、常に話し合い、反省してぐんぐん進んでいきたいと思えます。

おたより
六年 平田修一郎君



ボクシングの見方②

ボクシングと体重制

ボクシングはほぼ同じ体重の者同士で試合をすることになっています。それは重い人の方が強く、軽い人が不利になるからで、同じ条件で戦うことが要求される。しかし身長の違いは関係がなく、その差は技術によって補うことができます。では体重別にどのような階級があるかをあげてみます。モスキート級 45kgまで(高校生のみ)

- ライトフライ級 45kgまで
 - フライ級 48kgまで
 - バンタム級 51kgまで
 - フェザー級 54kgまで
 - ライト級 57kgまで
 - ライトウェルター級 60kgまで
 - ウェルター級 63kgまで
 - ライトミドル級 67kgまで
 - ミドル級 71kgまで
 - ライトヘビー級 75kgまで
 - ヘビー級 81kgまで
 - スーパーヘビー級 90kg以上
- (五十五年度より新設された)

南国に競え若人

はぐくめ友情



阿久根市は57年全国高等学校総合体育大会のボクシング会場になっています。大会を成功させよう。

止めるも家庭の責任



年々増加する少年非行

346人が不良行為で補導される

犯罪白書では

阿久根警察署が出した昭和五十五年度の犯罪白書をみてみますと、少年犯罪で検挙された少年は五十七人（犯罪少年四十五人、触法少年十二人）で、件数は五十八件にものぼっています。

犯罪の主なものでは窃盗（ぬすみ）の五十二件、恐喝（おどし）三件、その他一件となっており、その八〇％（四十六人）は中・高校生で、低年齢化の一途をたどり、手口も多様化、都市型非行の傾向にあります。

また、不良行為で補導された少年は三百四十六人にものぼり、これは昭和五十年以降最高の増加を示し、五十四年に比べても百十四人も増えています。

補導される青少年では中学生が最も多く、全体の七〇％、二百七十一人にものぼっています。不良行為で多いものが喫煙、次に夜遊び、不健全ごらくの順になっており、最近では女子中高生によ

る不純異性交友が目立ち、問題をなげかけています。

少年非行の実態

犯罪で多いものが窃盗。市内の女子中学生二人が家出をし、店からオートバイを盗み有職少年と不純交友をしていた例。中学生三人がグループをつくり、商店、学校など荒し回りラジオ・カセット・テープ等を盗み友だちに売りさばっていたものなどがあげられています。

このほか、臨本海水浴場における成人グループと少年グループによるシンナー乱用事件も発生、これまで市内では一件もなかったシンナー乱用が二件も発生、覚せい

剤犯罪のきざしが見られます。

不良行為では、いせん喫煙が多く、友だち同志喫煙店、遊技場などでタバコを吸ったり、学校でかくれて吸う例が多い。さらに、不純異性交友で補導される女子中高生も多くなっています。

このような非行や犯罪は、学校や家庭の外で親に知られて行なうため、見つけて補導することは非常に困難であり、実際には、以前の数字よりはるかに上回る少年が非行を行なっているものと思われ

ます。わが子の非行に直面した時「うちの子にかぎって……」と絶句することが多く、非行に対する子と親の考えと現実とにズレが感じら

若者の声は

青少年の非行は低年齢化をたどり、不良行為などで警察に補導される少年のほとんどが中高生で占められています。

これらの年代は非行についてどのように考えているのか、何が原因で非行に走るのか、市内の高校に出向き、直接高校生の話を聞いてみました。

◎市内で非行に走る青少年が最近多くなっていることについて知っていますか。

- 誘われてつい悪い道に入る
- 暇があるから
- 好奇心から
- かっこつけ

▽話してくれた高校生の全員ある程度は知っていたが、件数の多いことに驚いていた。とくに女性による不純異性交友についてはびっくりした様子、しかし友だちにもこのような非行に走る人が何人かいるのを知っていると話してくれた高校生もあった。

有意義に!!

不良行為少年の学職別
状況年度別対比表

年度 学職別	50	51	52	53	54	55
小学生	11	11	9	10	16	15
中学生	30	24	19	15	27	87 (5)
高校生	66	132	138	126	133	184 (28)
大学生						2 (2)
各種学生						6
有職者	22	36	66	46	42	38 (6)
無職者	8	16	23	12	14	14 (4)
計	137	219	255	209	232 (12)	346 (45)

非行への道歩むも

れます。昔は家庭に恵まれなかつた子が多かった少年非行も現在は何不自由ない恵まれた家庭で、しかも甘やかされて育った子供が非行に走る例が増えていきます。

非行が芽ばえる夏休み

休みの間ぐらいい……の
甘さは禁もつ

夏休み期間中は、規則正しい学校生活から「解放」されて、子供

大切な日ごろの積み重ね

計画のある望ましい親子関係

「非行の季節」から子供を守るためには、家族全員が話し合う機会をできるだけ多く持ち、日ごろから相互理解を深めることが大切です。親の自信のなさ、子供た

にたいする無関心、放任、乱れた家庭のふん囲気も、子どもを非行に追いやる原因となります。子供たちに追いついて家庭とは「心やすま

たちの生活は乱れがちとなります。少年非行の多くは、この長い休みの間に芽ばえ、育ち、学校の始まるころには、学校がらいや、家出、盗み、などといった本格的な非行の道を進み始めることとなります。

子供たちの気のゆるみに加えて「休みの間ぐらいい」とか「少しぐらいい……」といった家庭の甘やかしが、とくに夏休みに非行が増える原因でもあります。

それには、まず何をいっても親と子の対話が必要です。しかし対話のある望ましい親子関係は急にできるものではありません。ふだんの積み重ねが大切です。子供は家庭の中で自分の役割を常に求めているのです。

たとえば、お母さんにかわって近所へ使いに行くとか、来客があるときは、お母さんにかわって

防ごう非行 助けよう立ち直り

ただいま「社会を明るくする運動」中です

今年も「社会を明るくする運動」が、七月いっぱい全国一斉に行なわれていきます。

この運動は、すべての国民が犯罪、非行の防止と罪を犯した人た

- 一回悪い事をすればやめられない。
- 悪いグループがある。
- 車を許可することが悪い。
- 家庭の問題
- 勉強がきらい
- 学校に不満がある
- 目立ちたい
- やけっぱち
- 死んでもかまわない
- 親が知らんふり
- 親の指導力のなさ
- もうすぐ社会人だと親が放たらかしにしている。
- 心構えを植えつける。
- クラブ活動に入り若さをスポーツにぶつける。
- 家庭での話し合いの場をつくる。もっと両親が指導する。
- 連帯がなっていないので小学二年～四年ごろから善悪の判断のある青少年の育成に努めてもらいたい。
- 学校・地域・家庭一体となりサークル会など備し、楽しい高校生活をさせる。
- 学校も少しきびしくしてほしい。
- 非行に走らないようにするにはどうしたらいいと思いますか
予防などは？
- 自分の進むべき道をみい出しそれに向かわせる。
- その他の意見
- 非行に走る人もみんな心のやさしい人。
- いい友だちばかり
- 有識者も悪い。

つたときはお茶を出すとか、電話を取りつぐなど、家庭の一員として認められることで子供たちは自信と誇りを持つようになります。

ところが、過保護の家庭や放任の親のもとでは、子供の成長に欠

ちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合せ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、市でも各種団体がこぞってこの運動を推進していま

かせない社会との接点、大人への「芽」が積みとられてしまっています。子供にしてみれば人間としての欲求がたれたれているために、欲求不満の状態になり、このハケ口を外に求めようとします。こうして非行の道に入ります。

子供たちを一人の人間として尊重し、社会生活への適応を上手にリードしてあげながら、常に子供たちと一緒に歩もうとする親の態度こそ、子供を非行から守るうえで一番大切なことではないでしょうか。

ミニ情報

阿久根大島を クリーン作戦

市青協



阿久根市青年団連絡協議会（田中正文会長、会員百二十人）は、六月二十一日阿久根大島の清掃作業を実施し、親睦を深めつつさわやかに汗を流しました。
夏の海水浴シーズンを前に、島をきれいにしようというのがねらい。この日は、団員七十人が参加して、砂浜や松林に散らかっている空き缶やガラス類を拾い集めていました。

市民のひろば ひろば

ニュース・話題などお知らせください
③1211 内214へ

樋脇を追いこすぞ!!

大川小にミニホッケークラブ誕生

市内の大川小学校に、市内では初めてのミニホッケークラブが誕生。練習時間には一時間程度のステイクを持った子どもたちが、校庭狭しと走り回っています。

このミニホッケークラブは、四月同校に転任された佐木敏郎先生によって結成されたもので、県下では樋脇町で盛んに行なわれていたが、市内の学校では初めてのクラブ。部員は現在一十七人、中には幸礼理香さん、鶴岡美生子さんの「紅一点」も加わり、男子に負けずがんばっています。
ステイクはホッケー協会より譲ってもらい、玉は危険のないよう

ソフトボールを使用しています。クラブは火曜日の午後が練習日で、今はステイクで玉をじょうずに運ぶコントロールや、プリーなどの基本練習をみっちり練習中で、試合はあと少し先。

回ではものたりない。「樋脇を追いこすぞ」とがんばっており、花木先生も「我慢強い子どもを育てたい。樋脇に負けないチームができれば……」と意欲満々。

大川小に期待しています。

金メダル六個を獲得

県身体障害者スポーツ大会

「スポーツを通して身体障害者の交流と自立更生」と六月十四日、鹿児島市で身体障害者スポー

ツ大会が開かれ、県下から千七百人が、本市からも陸上競技に九人の選手が参加しました。

小雨もよりの天候の中で、他の身体障害者の方々と視聴を限りながら競技を行ない、車イススラロームに出場した山下馬場の大田賢男さんが一位になるなど本市選手は大活躍、金六個、銀七個、銅四個のメダルを獲得元気いっぱいにプレーしていました。

四市対抗陸上競技大会

8月9日阿久根市で実施

出水・川内・串木野・阿久根市の四市対抗陸上競技大会は、八月九日市の総合グラウンドで実施されます。応援しましょう。



練習にはげむクラブ員



なつがしの写真

阿久根小学校で行なわれた祝賀式に、来賓を呼び送り、送迎車が走り出した。阿久根市を代表して、バスで参加した選手と関係者たち。写真撮影中。

ふるさとの歴史を勉強

三笠中学校

ふるさとの歴史を知り、祖先のあしあとを探ろう……と市内協本の三笠中学校で六月十日、全校生徒による史跡探訪が行なわれました。

同校周辺には、昔の寺や神社、古墳群などが多くあり歴史の勉強をするには事欠かない。

学校では、「世界の事を知る前にまず、ふるさとの歴史を知っておこう」と今年始めて「創意と工夫の時間」に行なったものです。

この日は一年生から三年生まで三班にわかれて十三カ所を見て廻り先生や住職さんから説明を受けました。生徒たちは「ふるさとのことがよくなりました」とこの史跡めぐりを喜んでいました。

~~~~~

A級 大丸クラブ

B級 電報局

C級 グレートパンヒが

それぞれ優勝

夏季ソフトボール大会

夏季ソフトボール大会は、六月一日から十日まで市総合グラウンドにA級B級C級に四十五チームが参加して行なわれ、熱戦をくりひろげました。

8年つづく青壮年早朝ソフト  
校区の活力源に

大川校区



親睦を固りつつプレーにハッスル

大川校区では、今、青壮年による三カ月間早朝ソフトボール大会が盛んに行なわれています。

明るい校区づくりと、部落間の

ら開会しています。  
この大会に出場できるのは、高校生をのぞく青年、壮年で、とくに一試合中は四十歳以上が必ず試合に入らなければならないとの決まりもある。  
試合は天気の良い早朝五時半から大川中のグラウンドで行なわれ、ボールを打ったり、捨ったり壮年も負けずにハッスル、グラウンド

30年ぶりに  
ホタルが発生

尻無川寺下橋付近

昔は、農村のいたるところで見られたホタル。最近では川の汚染などですっかり姿を消し、さびしいかざりとなっていたが、市内大川の尻無川上流に三十年ぶりホタルが発生した。

花と手紙をプレゼント  
めぐみ幼稚園の園児

めぐみ幼稚園の園児が

市内のめぐみ幼稚園の園児が六月十八日、市役所に川畑市長を訪問して花と自分たちで書いた手紙を届けた。

この日訪ねたのは来年度一年生になる年長組の四十四人で、市長室で、まず全員一様に「まいにちのおしごとくろうさまです。からだにきをつけてげんきでがんばってください。」とあいさつしたあ



市長に花と手紙をプレゼント



ホタルが発生した尻無川

夕暮れになると尾から光を放ち川辺を飛び廻っていました。

ホタルは、この五月から六月上旬まで見られましたが、数にして二万匹ぐらゐ。

ホタルは、体長十五センチから二十センチもある源氏ホタル。この寺下橋付近は川の水がきれいなのでホタルの幼虫期のエサになる川ニナ(川ミナ)が多量に生息しているのが発生のお条件になったものと思われています。

ホタルは、この五月から六月上旬まで見られましたが、数にして二万匹ぐらゐ。

ホタルは、この五月から六月上旬まで見られましたが、数にして二万匹ぐらゐ。

ホタルは、この五月から六月上旬まで見られましたが、数にして二万匹ぐらゐ。

ホタルは、この五月から六月上旬まで見られましたが、数にして二万匹ぐらゐ。



**身体障害者に対する  
福祉資金の貸出について**

市では、身体障害者福祉の充実を図るため、次のとおり身体障害者福祉資金の貸出しを行なうことになりました。ご利用ください。

- 貸出金額 二万円まで
- 貸出利息 年三%
- 貸出期間 十カ月
- 返済方法 十回払 数回払 一時払
- 保証人 連帯保証人 一人
- 資金の用途 当座に必要な生活資金とします。
- 申込先 市社会福祉協議会 かわしくは、市社会福祉協議会 (福祉事務所内)へ

**ガス溶接技能  
講習会の案内**

- ▽期日 七月二十四・二十五日 午前九時～午後五時まで
- ▽場所 出水農業協同組合 学科 出水工業高校 実技 出水工業高校
- ▽受講料 五千円(外にテキスト)

ト代として三百五十円)

**▽受講申込 川内市東開町**

鹿児島県労働基準協会川内支部

☎0996251377

**▽その他**

写真(たて3センチ・よこ2センチ) 2枚添付。

**選挙推進に関する  
作文を募集**

県明るい選挙推進協議会出水支部では、明るい選挙推進に関する作文を募集します。

▽対象 小・中・高校生および一般とします。

▽課題 小・中学生 ①私たちの選挙②大人の選挙を見て

高校生・一般 ①選挙について考えること。②この一票への期待

**第四回鹿児島県  
竹製品まつり**

○とき 八月十五日から十八日まで

○ところ 鹿児島市山形屋7階

出品の申込みは七月十八日まで、県庁商工振興課へ

③明るい選挙のためには、④その他選挙に関するテーマであれば可

▽字数 八百字以内

▽締切り 提出先 九月十日まで

阿久根市選挙管理委員会へ

▽入選発表 〃しろばら〃43号に発表します。

▽賞 各部門ごとに一席一点、二席二点、三席三点(賞状と賞品)

応募者全員に記念品があります。

**NHK8<sup>リ</sup>映画  
コンクール**

○題材

テーマ部門「橋」五分程度

一般作品部門 自由 十分程度

○資格

県内に住んでいる方、カメラ、フィルムその他材料の使用制限はありません。

○作品受付と送り先

九月一日から十月二日まで

鹿児島市天保山町十九〜二十

NHK8<sup>リ</sup>映画コンクール係

☎0992641111へ

○賞

各部門ごとに最優秀一点、入賞二点、他に特別技術賞

○発表

十一月三日

**切手展の案内**

▽期日 八月七日・八日

▽場所 阿久根郵便局お客

きまルーム

※記念切手の再販もします

多数ご観覧ください。

読んでください

**ぞうきん用の布を  
譲ってください**

市内の老人ホームでは、お年寄りの余暇利用と、機能回復に及ぼすクラブをつくりぞうきんを縫い、これらを市内の小中学校に寄贈し喜ばれています。最近ぞうきんをつくる布が不足しているそうです。各家庭で不用になっている布(タオル類)がありましたら譲ってください。市の福祉事務所取りまとめています。

**社協だより**

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

ありがとうございます。

岡村武一(新町) 倉津清俊(新町)

植村利則(山馬場) 長田トミ(樽)

折橋勝栄(司木野) 松永ミノ(湯)

牛之浜剛義(牛之浜) 浅野勝康

(飛松) 花田郁雄(井手下) 榎司

(高松) 牛之浜勝美(牛之浜)

**◎持志寄付**

都城市の深江借さん

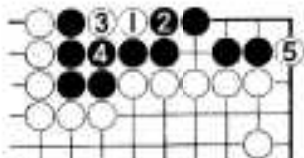
市内新町の猪谷照志さん

**心配ごと相談は5の日**

心配ごと相談は毎月五日・十五日・二十五日です。気軽にご利用ください。

休日の場合は翌日になります。

社会福祉協議会



(正解) 白1のツケが手筋で、白5までで死。白1で3からはうまくいかない。